

< 吉野の春 >



遙かに蔵王堂を望む丘の上からの風景である。遠くに屋根が見える蔵王堂は、金峰山寺本堂、蔵王権現を祭っているので蔵王堂と呼ばれてこちらの方が良く知られている。正面5間、側面6間、高さが27m余もあって、木造建築では東大寺の大仏殿に次ぐ大きさで、檜皮葺きの屋根が美しい。この吉野には南朝4代の皇居の跡もあり、搭型の妙法殿と各寺の寺宝を集めた収蔵庫がある。桜の時期には多くの観光客で賑あう桜の名所で、その数は、上、中、下、奥千本とも言われ数では日本一を誇っている。

(画と文 赤根 晴雄(機械・総技))